

事務事業名	現年林道災害復旧事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農林道G	課長名	石飛幸治
施策名	(34)林業の振興	担当者名	伊藤大輔	電話番号 (内線)	0854-40-1053 3710
基本事業名	(102)適切な保育管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業	現年林道災害復旧事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)	梅雨前線、台風、秋雨前線などの豪雨により、土砂崩壊、路肩決壊などの被災を受けた林道を原形復旧する事業である。災害として認められる基本事項として、時間雨量20mm以上、連続雨量80mm以上のどちらかをクリアすること、また災害規模としては、被害額が60万円以上であることが必要となる。	昭和25年5月10日に法律第169号で農林水産施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律が制定されて開始された。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
【H23現年(23年災)】 工事費:28,012千円(9箇所) 測試:3,972千円(11箇所) 【H24繰越(23年災)】2箇所 工事費:9,006千円(2箇所)	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円	9,117	18,890	5,146		
	地方債	千円	1,000	10,600			
	その他	千円					
	一般財源	千円	302	2,494	3,860		
	事業費計(A)	千円	0	10,419	31,984	9,006	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人		2	2		
災害発生→現地確認→査定設計書作成→査定→積算→入札→現場管理→竣工→支出	延べ業務時間	時間		90	300		
	人件費計(B)	千円	0	350	1,183	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	10,769	33,167	9,006	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	現場確認 査定 復旧工事(現場管理)	ア 復旧事業費(現年)	千円			28,012			
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 復旧事業費(繰越)	千円		10,262		9,006		
	天候(豪雨、梅雨前線、台風、豪雪)状況による	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	被災箇所	⑥ 対象指標							
		ア 申請箇所数	箇所	4		11			
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	被災箇所の復旧	ア 竣工箇所数(現年)	箇所			9			
		イ 竣工箇所数(繰越)	箇所		4		2		
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
上位目的	森林を適正に保全する。	ア 間伐実施面積	ha	639	442	530			700
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
単年の災害発生件数により事務量が大幅に変化するが他の類似事業(土木災害)に比べ事務量が多く、近年より詳しい資料の準備を要求されてきている。	特記事項なし	早期復旧の要望あり。

事務事業名	現年林道災害復旧事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 被災した林道を復旧することにより森林整備の振興を維持する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が管理する林道であるため妥当
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市が管理する林道のみ対象である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 原形復旧を原則に復旧。向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 市有財産の管理である。森林の荒廃へつながる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 災害復旧事業の要綱に基づき実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 工法検討により、経済的なものを選択している。これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の人数で対応している。これ以上の削減はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市が管理する林道であるため受益者からの負担はない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	被災箇所での早期復旧に努めた。来年度以降も従来どおりで改善は必要なし。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						